



平成28年3月11日

各 位

会 社 名 ユニオンツール株式会社
代表者名 代表取締役会長 片山 貴雄
(コード番号 6278 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 田口 秀雄
(電話 03-5493-1017)

見附第二工場建設についてのお知らせ

本日開催の取締役会において、既に工場建屋1棟を有している見附工場敷地内に第二工場となる建屋を建設することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 見附第二工場建設計画の概要

- (1)規模：地上2階建て鉄筋コンクリート構造 延床面積 7,882㎡
- (2)建設期間：4月1日から10月末まで(引渡しは10月末を予定)
- (3)総支出見込額：20億円

2. 建設の背景・目的等

平成17年に土地を取得し、これまで1棟の建物を設置していた見附工場は、当社グループ唯一の超硬エンドミル専用工場として稼働してまいりました。当社グループは、この超硬エンドミルを第二の柱として強化すべく、通常品の産出量拡大のほか、新たなダイヤモンドコーティング品の開発などを進めております。

昨今、当社の超硬エンドミル製品の市場での浸透が進み、多くの引合いをいただきながら、特殊品の開発期待の高まりを実感しています。市場からの期待に十分に答えていくため、このほど第二棟目の工場建屋の設置を早急に完了すべきと決断いたしました。当社グループは、主に自動車関連業界、金型加工業界などをターゲットに超硬エンドミル製品の展開を図っておりますが、今後、概ね5%程度の需要の拡大(数量ベース)が続くものと考え、現在の産出量を約50%増強できる機械の配備を前提にこの規模の建物といたしました。(機械設備の導入、段階的能力増強進捗は未だ白紙の状況です。)

当社グループの平成27年12月期(決算期変更の経過期間(13ヶ月決算))の超硬エンドミルの売上高は約45億円ありましたが、早期に50億円を突破させ、さらに伸ばしていけるよう努めてまいり所存であります。

3. 平成28年12月期(今年度)の業績への影響

今回の設備投資が今年度中の売上高に寄与することはないと考えております。費用面では、減価償却費の増加が見込まれますが、長期の定額法で今期の算入月数も短いことから僅少であると考えております。また、全額自己資金で賄う計画であるため借入金利・手数料負担等の発生も見込んでおりません。以上のことから今期業績への本件の影響は軽微なものと考えております。

以 上